

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	薪さえあれば憂いなし！防災&木の村「売木村」推進プロジェクト
事業主体 (連絡先)	売木村 電話 0260-28-2000
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,300,950 円

事業内容

電力を必要としない薪ストーブを導入し、平常時は防災訓練、食育、火育、啓発のために行事で活用し、災害時は避難施設の暖房、炊事、照明等の役割を果たすという今までに例のない多目的な防災モデルを実施。

防災訓練や子ども達の教育現場等で活用することにより、地域住民の防災意識、防災力の向上を目指し、森林資源の有効活用やCO2削減への啓発に繋げ、木の村「売木村」を推進することを目的とした。



【異世代交流会の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①様々な村内のイベント行事や、防災訓練等で防災多目的ストーブを使用することにより、地域住民の防災意識、防災力の向上が図られた。
- ②初めて村全体で村民や消防団を巻き込んだ防災訓練を実施することができ、実際に防災ストーブを活用し、災害時等の緊急時に難を免れることができる等の周知ができた。
- ③世代を超えた異世代交流会で、お年寄りから子ども達へ火の付け方や、お釜を使ったご飯の炊き方を教えてもらうことができ、食育・火育・木育・防災訓練を世代を越えて行うことができた。
- ④ふるさと館への薪スタンドの設置により、地域住民の森林資源の活用及び意識向上に繋がり、ふるさと館へ薪を集荷する生産者は1人のみだったが、5人に増加した。

- ①地域住民の防災意識・防災力の向上
- ②村全体での防災訓練の実施
- ③教育現場等での火育・食育・木育の実施
- ④薪スタンドの設置により、森林資源活用を促す

※自己評価【B】

【理由】

導入した防災多目的ストーブを活用した防災訓練や子どもからお年寄りの世代を超えた行事等で食育・火育・木育を村民を巻き込んで行うことができた。今後、さらに様々な場面で活用し、普段の暮らしの中から火育、森林資源の活用を進めていく。

今後の取り組み

今後、さらに導入した防災多目的ストーブを防災訓練や教育現場等、様々な場面でさらに活用を促進し、食育・火育・木育を普段の暮らしの中から学べる環境を創出していく。

また、村民への周知をさらに強化するため、各集落の村民懇談会等でも案内を実施し、各集落での行事等でも活用したり、万が一の災害時には集会所内にストーブを設置して、煮炊きや暖房等として活用ができることをさらに周知していく。

将来的に、本事業で導入した3台の防災イベントストーブを皮切りに、各集落や個人宅等でも、防災意識が高まり、自発的に防災訓練や災害時の備えに対する意識が向上していくことを目指す。